

## 第1回本宮市地域創生有識者会議(令和元年5月15日) 意見要旨 ※敬称略、順不同

所属	氏名	ご意見の概要
本宮市商工会女性部	渡辺 薫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本宮市のイメージの「核」となるものがあるといい。図書館など大人もお金をかけずにいられるような居場所があれば。施設的なものだけでなくもいい。</li> <li>・子どもを育てるときに便利さだけでなく、レベルの高い教育があればいいと思う。</li> </ul>
福島県立本宮高等学校	黒川 佳子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の高校入試から方法が変わり、本宮高校も魅力ある学校として受験生をたくさん集めたいと考えている。</li> <li>・本宮高校に通学している生徒の中で郡山市出身者が一番多い。高校と地域と一緒に活動していくことも踏まえて、郡山市出身の生徒たちに本宮市の魅力を感じてもらえると、10年後、20年後につながっていくのではないかと思う。</li> <li>・意外と本宮市が知られていない。本宮高校に来る郡山市の生徒たちが、高校3年間で本宮市の良さを十分に感じてもらい、その子どもたちが将来住む場所を考える際に、本宮市が選択肢に入るようになればいい。</li> </ul>
本宮市立本宮第一中学校	渡辺 敏弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本宮市で生まれ育った子どもたちが、将来的には本宮市に戻ってきてほしいと思う。</li> <li>・本宮市は福島地区と郡山地区の高校に通える共通学区で特別な環境。市外の高校に通う子どもたちが大半である。地元の本宮高校や安達管内の高校に魅力を感じて志願するような状況になれば好ましい。</li> <li>・子どもたちが考えている夢を叶えてあげたい思いがある一方で、地元の本宮はこんなに良いところだということを何らかの形で子どもたちに教えていけたらいい。</li> </ul>
本宮市教育委員会	谷 明子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件がきちんと知られていれば、本宮市を選んでいただけたらと思う。</li> <li>・さまざまな施策に地道に取り組んできた成果が、年少人口がそれほど減少していない現状につながっている。</li> <li>・国において外国人労働者の受入を進めており、大企業でも外国人留学生を採用の対象としている。</li> <li>・今までの地道な施策以外にも違う観点から見た施策も必要なのではないか。</li> <li>・夫の病院で産科をやっていた。産科を辞めた理由は助産師を募集しても集まらなかったこと。1人の助産師では24時間体制に耐えられない。</li> <li>・市として継続させたいものがあれば、いろいろな手をみんなで考えていくことで持続する可能性がある。</li> </ul>
国立研究開発法人 国立環境研究所 福島支部地域環境創生研究室	大場 真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの時代、質の高い教育が求められている。そういう意味では外国人に対しても十分教育し、受入れていくことは重要である。</li> <li>・本宮市もこおりやま広域圏としても外国人に優しい、あるいは若年者に対して高等な教育が行われ、生涯教育も行われるような取組が実施されればいい。</li> </ul>

所 属	氏 名	ご意見の概要
東邦銀行本宮支店	三瓶 陽一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者について、転勤族で本宮市に転入したのか、居住を目的として転入されたのかの分析が必要。</li> <li>・本宮の商店街は空き店舗が少なく頑張っている印象。</li> <li>・市内には大きな企業がたくさんある。そこで働いている従業員のうち何%が本宮市に住んでいるのか。そうした企業へのアプローチが必要なのではないか。</li> </ul>
二本松信用金庫本宮支店	保住 徳夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧白沢地区の人口が減少している話を聞く。</li> <li>・婚活を含めた出会いの場が必要。結婚しないと子どもの数も減っていく。</li> <li>・後継者問題があり、今後数年で事業継承ができない事業所が出てくる。後継者問題が人口減少にも繋がっていく。</li> </ul>
NPO法人本宮いどばた会	平 佳子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠しようとしているお母さん、2 人目、3 人目を出産しようとしているお母さんたちが、どういう環境があったら妊娠出産しようと思うのか、そのあたりの課題を生々の現場から汲んでいくことも私たちの役割ではないかと感じた。</li> </ul>
福島民報社本宮支局	鈴木 信弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みよさが知られていない。</li> <li>・社会動態が増加しているが、白沢地区と本宮地区の地域格差が生じている。団地を造成しているのも本宮地区のみで、白沢地区は合併以降人口減少が続いている。白沢地域の定住人口をどう増やしていくかは市の重要施策にもあるが、そのあたりの方策が課題となってくるのではないか。</li> <li>・定住にあたっては家族で来る場合、働く場が必要なので就業支援や就農支援が必要ではないか。</li> <li>・周産期医療について、当面は出産ママタクシーでの対応になるが抜本的な解決にはならない。どうしていくかが課題。</li> </ul>
福島民友新聞社本宮支局	佐藤 智哉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郡山市や福島市にも利便性が高く、住みやすいまちだと感じた。</li> <li>・町全体でも子育てしやすい環境にあると感じている。公園もあり、商店もあり見守り体制があるように感じている。</li> <li>・産婦人科があれば、子育て世代の移住に繋がるのではないか。</li> <li>・SNSで情報を得ることが多い。Twitter や Instagram といった活用が足りず、若者が食いつきそうな施設や資源がある中でまだまだ発信しきれていない。</li> </ul>
世界自閉症啓発デー本宮実行委員会	遠藤 美華	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住相談会について、都会からだけを意識しているように感じる。現実的に東北の近隣自治体でも実施できたらいいと思う。マイホーム取得奨励金の実績を見ても、関東圏よりは県内自治体や東北の自治体が多い。</li> </ul>
	小笠原 佳奈子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと回帰支援センターで郡山市近辺を中心に探していたところ、本宮市を紹介していただいた。</li> <li>・移住相談会の実施回数が増えていくのはいいことだと思う。</li> </ul>